

## FD 関連研修会 参加報告書

主 催	関西大学 教育開発支援センター
企画名称・テーマ	「三者協働型アクティブ・ラーニングの展開 最終結果報告会」
開催日時<会場>	2012年1月28日(土) <関西大学千里山キャンパス>
参加者所属	歴史学部 歴史学科

### 参加報告

#### 1. 研修会の目的

関西大学における文部科学省の大学教育推進プログラム採択プログラム「三者協働型アクティブ・ラーニングの展開」の3年間の取り組みについての成果報告。

#### 2. 研修の概要

ラーニング・アシスタント(LA)を中心とする当該プログラムについての実践報告、および3名の外部評価者によるアクティブ・ラーニングについての考え方の報告。

#### 3. 本学のFD活動における検討課題

アクティブ・ラーニングという考え方が明確には意識されていないかもしれないが、本学の「入門ゼミ」はその実践の場となっていると考える。特に「入門ゼミ」における縁コミュニティとの関連で配置される支援上回生は、関西大学のLAと共通する性格を持っているように感じた。授業の活性化とともに、1回生の学習環境への適応のため、本学でも支援上回生をもっと積極的に活用するとともに、彼らの役割の明確化、スキル向上の方途を考えていかなければならないと感じた。

また大教室におけるアクティブ・ラーニングの可能性や、入門ゼミとともに各学部の概論系の基礎科目とも連携した、学部・学科のポリシーを見据えた初年次教育の位置づけも検討していかなければならないのではないかと感じた。